

留学報告書

記入日:2017年10月18日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部/商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: 英語
留学期間	2017年6月～2017年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年9月15日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	円	備考
授業料	7900.00	886,785 円	
宿舍費	2000.00	224,502 円	
食費	3000.00	336,753 円	
図書費	500.00	56,125 円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	500.00	56,125 円	形態:
渡航旅費	3741.60	420,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	17641.60	1,980,290 円	

渡航関連

渡航経路: 飛行機

渡航費用

チケットの種類	プレミアムエコノミー
往路	210,000
復路	210,000
合計	420,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2)

3) 住居を探した方法:

授業と同時に申し込み

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

異国の人と寝食を共にするのは一番良いコミュニケーションの練習となると思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題が発生しなかった。相談はできる

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本のように、家の外、特に店などで貴重品をうかつに放置しないように気を付けた。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内は寮も含め、WIFI が充実していたので特に困ることはなかった。外出時は自分で契約した SIM カードを携帯に入れていたので、通信量は制限されるものの重要な連絡は問題なくとることができた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードのみ。預金を定期的に親に確認してもらい、足りなくなったときは、お金を入れてもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に自分名義のクレジットカードから支払った。(留学生本人とクレジットカードの名義人が同一である必要があったため)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
大学の説明会
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
メーカー
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
不安は留学前も後も変わらずにあるが、留学が自分の強みになれば、という思いで行ったので、自分にとってはよいモチベーションになった。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to marketing	マーケティング入門
科目設置学部・研究科	school of business
履修期間	3か月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間50分が2回
担当教授	YOON.K
授業内容	マーケティングの基礎について1時間講義を受けたあと、それを応用した課題を5人1組で完成させる。
試験・課題など	毎回グループケースの課題、中間期末試験が各1回
感想を自由記入	グループケースではマーケティングの基礎を構築するとともに、英語で自分の考えをまとめ、発言するよい練習になった。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to strategy	経営戦略入門
科目設置学部・研究科	school of business
履修期間	3か月
単位数	4

本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間50分が2回
担当教授	KLEINHANS, J.
授業内容	経営戦略の基礎知識
試験・課題など	中間期末がかく1回ずつ、週1回8ページ程度のレポート1本提出
感想を自由記入	予習、課題、試験すべてにおいて量とレベルが並大抵のものでなく、非常に単位取得に苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Managing change and innovation	産業組織改革論
科目設置学部・研究科	school of management
履修期間	3 か月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間50分が2回
担当教授	Grace McLaughlin, PhD
授業内容	組織の中の改革についてどのような方法があるか
試験・課題など	中間期末が各1回ずつ、毎回授業前に予習の有無をオンラインテストで提出
感想を自由記入	日本では習ったことのない分野ですべてが新鮮でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	語学の勉強
4月～7月	語学の勉強、フィリピン語学留学
8月～9月	語学の勉強
10月～12月	留学を検討し始める
2017年 1月～3月	語学の勉強、出願
4月～7月	語学の勉強、留学開始
8月～9月	Session1 期末試験、Session 2 開始、帰国
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学入学当時から、大学在学中に留学をしようと決めていました。大学2年次にフィリピンへ語学留学へ行き、ある程度の進歩が見られたので、もう1個上のステップへチャレンジしようと思っていたところに、今回の協定留学が今年度から全学部適用になったことを知り、参加を決意しました。フィリピンでの語学留学もとても良い経験であり、事実 TOEIC の点数は200点近く上がりましたが、2か月の留学の中で、どうしても
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	試験勉強の域を抜け出せず、物足りなさを感じていました。その点、今回の留学は、英語だけを使い大学の講義を受けるという部分においてステップアップを図れたと思います。私の場合、先述した通り、1年次から波はありますが継続して英語学習をしていました。していたこととしては、オンライン英会話、TOEIC 対策(文法、単語など)、Podcast での英語ニュース視聴、英語塾への通塾などが挙げられます。ゆえに、今回の留学に向けて何か特別なこと、というのは特に行っておりません。しかし、現地に行き行って感じたのは、自分の圧倒的リスニング力の低さです。日本での自主勉強だと、どうしても会話の機会が極端に少なくなる傾向にあると思います。英語をどのように使うか(例えば、ネイティブとコミュニケーションが取れるようになりたい、学術研究に使用したいなど)、つまり目的は人それぞれ様々だと思いますが、その目的、また言語の種類に関わらず人として生きていくうえで、他人と対話する、という部分は必要不可欠なものです。しかし、相手の言っていることがわからないと、そもそも会話成立しないため、私は4技能の中でもリスニング力を鍛えることを強くお勧めします。
この留学先を選んだ理由	今回は、ある程度範囲が狭められた中での選択でしたので、すべての方に当てはまるわけではありませんが、留学期間、場所、プログラム内容、このすべてが私の希望通りでしたので、参加を決意いたしました。詳細を述べますと、まず期間についてですが、私は4年間で卒業することを目標としていたため、1年間の長期留学には参加できませんでした。そのような中で、今回は3か月、と短期集中型な部分が魅力的でした。また、場所についてですが、アメリカ西海岸は温暖な気候で知られ、心身ともにリラックスして勉強に集中できる点、また東海岸に比べて、多様な人種がいる、特にアジア人の比率が大きいことも決めての1つでした。プログラム内容については「留学しようと決めた理由」に述べた通りです。
大学・学生の雰囲気	正規生はとにかくアグレッシブな生徒が多いと感じました。授業中の発言もほとんど全員が挙手をし、何かしらの発言をしていました。またグループワークでも積極的にリーダーを務めてくれ、個人パートで私がいけないところは学校外でもメッセージアプリで親切に教えてくれ、また励ましてくれました。そのような存在は私たち留学生にとって、とても心の支えになるものだったと感じています。大学は、郊外ということもあり、落ち着いていてスタッフの方もみなフレンドリーな環境でした。
寮の雰囲気	私の場合、1人目はイタリア、2人目は中国の方と2人部屋にそれぞれ3か月ずつ生活を共にしました。イタリアのルームメイトとは、会った瞬間に意気投合し今も連絡を取り合っています。また、その方は自分の大学の大きなグループで来ていたので、そのグループにいれてもらい、他にも多くのイタリアの友人ができました。中国のルームメイトとは、ハウスルールをめぐりトラブルなどもありましたが、長引かせることなく、自分たちで解決しました。また私の第三習得言語が中国語だったこともあり、英語で会話する以外に中国語の練習ができたこともよい思い出です。
交友関係	やはり、英語ではなかなか深い話ができないのが正直なところです。私の寮はインターナショナルハウスという全員が他国からの留学生、という環境でした。故に、全員の英語能力にはもちろん差があり、完璧なコミュニケーションをとることは難しかったように思います。しかし、そのなかでも何とかして想いを伝えよう、という気持ちが拙い英語を話す勇気とモチベーションになりました。まだまだ日本語のように英語を操ることは難しいですが、この経験を糧に精進していきたいと思います。
困ったこと、大変だったこと	やはり英語で生活する、という点が大変でした。当たり前ですが、店の注文も英語、友達との会話も英語。英語から逃れられることのない3か月でした。英語が上達したくて留学に行ったにも関わらず、一時期は自分の英語のできなさに辟易し、誰とも話したくはない、英語も見たくない、となってしまった時期もありました。しかし、そこから気持ちを持ちなおすことができたのは、話したくなかったはずの他人、という存在でした。私がどんなに断っても根気強く誘ってくれる友達のおかげで、言葉が通じなくても、自分の英語を何回聞き直されてもいい、と割り切ることができ、またモチベーションを立て直すことができました。

学習内容・勉強について	<p>大部分は、明治の授業やゼミなどでの前提知識があり、問題なくついていくことができましたが、中には全く知らない分野の勉強をすることもありました。その際には、英語を聞き取るだけで精いっぱい深い部分の理解まで及ばないこともありました。また、1授業につき、3か月の間で中間期末があるため、勉強をしない日はほとんどありませんでした。予習復習の繰り返しの毎日でした。それでも思い通りの点数をとることができず、悔し涙を流した日もありましたが、日本語の学習では得ることのできない忍耐力を身につけることができました。</p>
課題・試験について	<p>とにかく難しいの一言に尽きます。課題では、明治ではあまり授業内で要求されてこなかったような論理的思考力も求められ、それを英語でレポートやプレゼンで説明することが困難でした。課題においても同じで、ただ書けば、埋めればいい、というのではなく、自分発信の斬新なアイデアか、ということが求められ常にクオリティの高い課題を提出することが求められました。時に、ネイティブのクラス内の友人の助けを借りつつ、やり遂げました。</p>
大学外の活動について	<p>特にありません。</p>
留学を志す人へ	<p>留学は、過去の自分を変える最大のチャンスだと思います。人間は、ある決意をしたとしてもそう簡単には変わることができない生き物だと思います。その中で、環境を丸ごと変える、というのは有効な手段の1つであると感じます。私自身も、環境の変化が自身の内部の変化を導いてくれたと感じています。迷っている人は、一度自分の気持ちに正直になってみて、気持ちを確かめてみてください。そして自分の思い通りに時間を使える大学生という時間を無駄にせず、有効に使ってください。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	予習	予習	予習	予習	睡眠		
午後	授業	授業	授業	授業	遊び	遊び	
	授業	授業	授業	授業	遊び	遊び	課題、予習
夕刻	課題、予習	課題、予習	課題、予習		課題	遊び	課題、予習
夜	課題、予習	課題、予習	課題、予習		課題		課題、予習